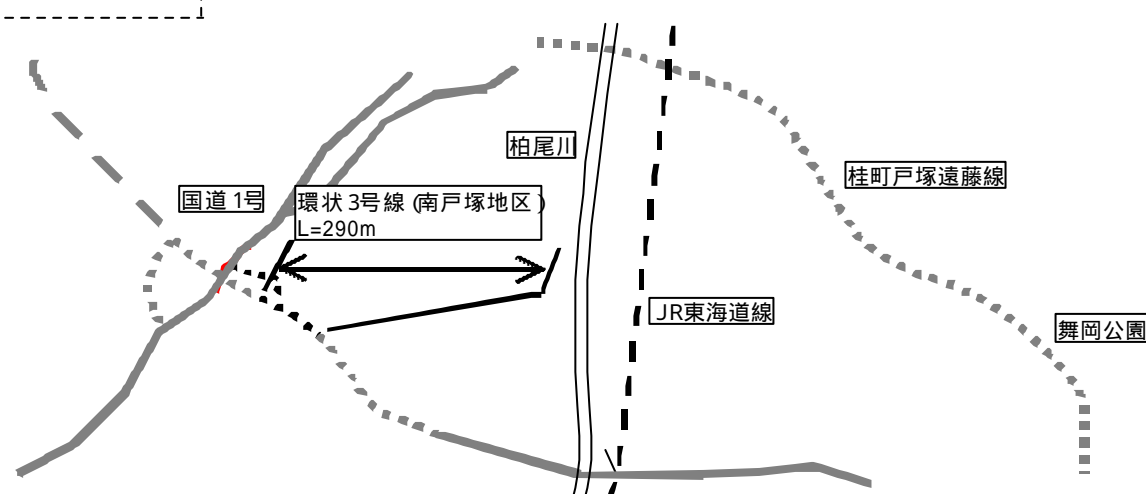


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
担当課長名：東 智徳

事業名	かんじょうさんごう 環状3号線（南戸塚地区）	事業区分	街路	事業主体	横浜市	
起終点	自：横浜市戸塚区戸塚町 至：横浜市戸塚区戸塚町	延長	0.3 km			
事業概要						
本路線は、3環状10放射道路の一つで、主要な放射状道路と連絡しながら、本市臨海部と内陸部を結ぶ主要な環状道路です。						
S62年度事業化	S32年度都市計画決定 (H7年度変更)	S62年度用地着手	S63年度工事着手			
全体事業費	6.3億円	事業進捗率	93%	供用済延長	0 km	
計画交通量	34,700台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体)3.7  (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) / 85億円 （事業費： / 85億円 維持管理費： / 0億円）	総便益 (残事業)/(事業全体) / 312億円 （走行時間短縮便益： / 298億円 走行費用減少便益： / 6億円 交通事故減少便益： / 8億円）	基準年	平成15年度	
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）</li> <li>・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）等</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
事業継続並びに整備の促進を要望します。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のために、道路ネットワークの形成の重要性が高まっています。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
本地区は平成12年度までに用地の取得を完了しています。今後は橋梁部分の架設や国道接続部の工事を行います。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
用地取得は完了し、現在支線の橋梁上部工を施工中であり、平成17年度末に完成の予定です。						
施設の構造や工法の変更等						
特になし						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
本市南部地域の環状型道路として重要な道路であり、既に供用している区間と一体となり、国道16号と国道1号の連絡という事業目的を達成させるため、早期に事業完了を図る必要性は変わりません。						
事業概要図						
						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。